

海外施設報告 ILLを利用して

JAEA/J-PARCセンター 川北至信

“Relaxation Mechanism in Chalcogen-Halogen Molecular Liquids”

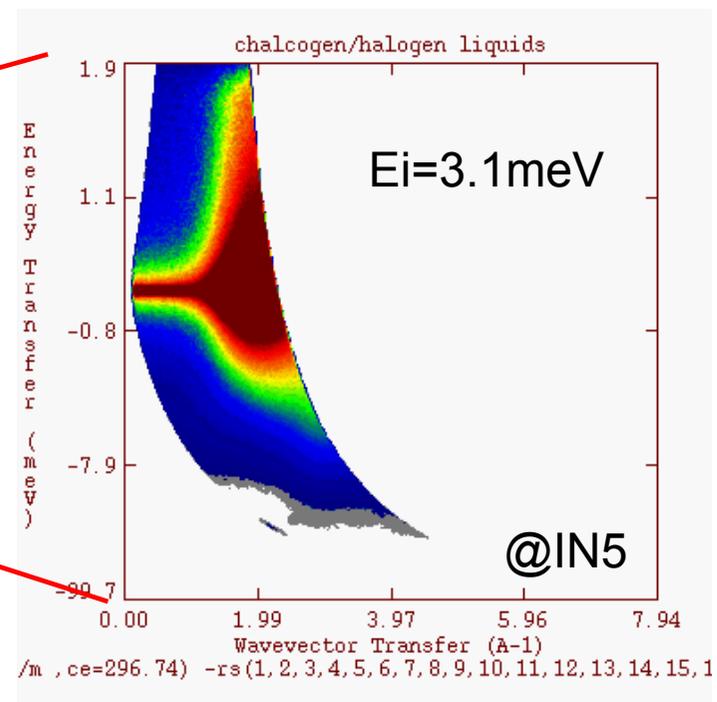
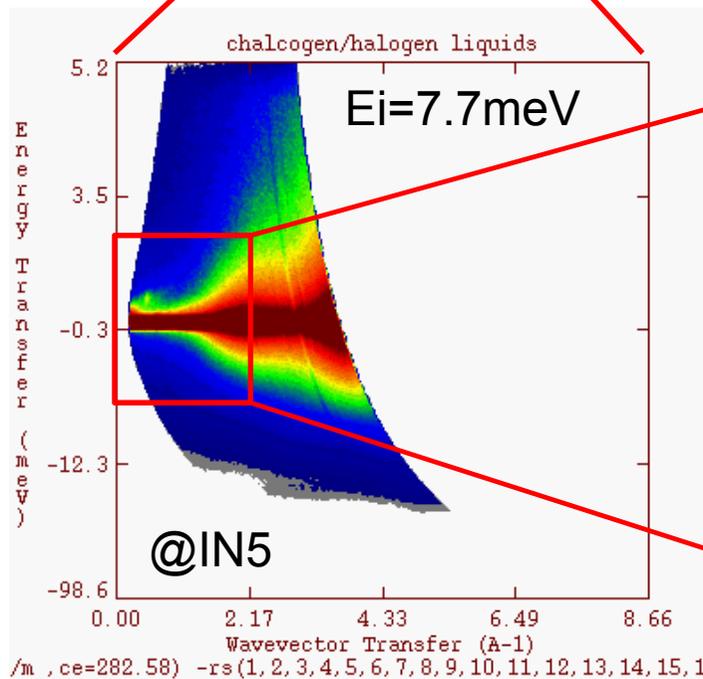
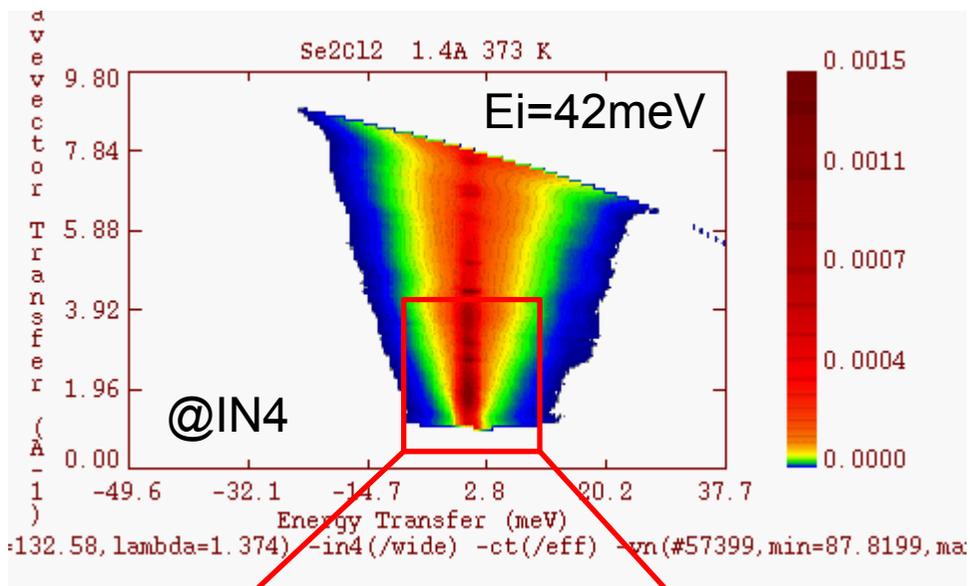
非弾性散乱分光器IN4、IN5 ビームタイム2011年12月19日－21日

参加者： 川北至信、島倉宏典(九大院理D2、JAEA特研生)

東日本大震災後にILLがMLFやJRR3の採択課題に対する救済枠として施設長裁量枠ビームタイムを設定し、本課題を採択して頂いた。

この場を借りて、ヨーロッパ中性子科学会(ENSA)とILLの心温まる救済措置の決定に深謝するとともに、救済プログラムの実施についてご尽力頂いた日本中性子科学会(JSNS)、本課題実施に関してご尽力頂いた関係各位に感謝の意を表します。

JSNS: 海外渡航援助



Se₂Cl₂ 233K

QENS/WINS2012 日光 2012年9月30日—10月4日

守衛所

パスポート確認

写真撮影→ユーザーカード作成

レシピ書類A4 1枚

施設案内図

カンティンカード(食堂用のプリペイドカード)

宿舎のキー(時間外)

レシピ一枚に従って
ユーザーは料理され
ていく

監視室@原子炉

放射線作業の承諾書提出

レシピに従ってドシメーターの発行

レシピ書類にドシメーター番号の記録、監視員の署名

実験終了後

レシピ書類とドシメーターを監視室に返却

レシピ書類は守衛所に返却も可

共同利用施設のみで
成り立つ施設ならではの
非常に強い**安心感**

ユーザーに対する満足度調査
要望